

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
小田原市	川東南部 (下府中・国府津・酒匂)	令和3年3月24日	令和3年3月24日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	50 ha
②アンケートに回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	40 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	16 ha
うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	4 ha
うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	5 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	1.15 ha
(備考)市街化区域が多くを占める。	

2 対象地区の課題

- ・農地と宅地が混在していて、営農環境が悪化している。
- ・農地の多くを樹園地(約77%)が占め、柑橘・キウイを中心に生産されているが、農道沿いの優良農地も荒廃するなど、耕作放棄地化が進んでいる。
- ・70歳以上で後継者未定の農業者の耕作面積の合計は4ha(約8%)であるが、今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積は1.15haである。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- ・田利用については、中心経営体である認定農業者1経営体が担っていくほか、農作業受託組織の強化を図り対応していく。
- ・畑利用については、中心経営体である認定農業者1経営体が担っていく。
- ・樹園地利用については、中心経営体である認定農業者2経営体が担っていくほか、認定新規就農者1経営体が担っていく。